

中学生の主張・作文が表彰されました



中学生の主張大会

第40回中学生

の主張大会が11月3日、たましんRISURUホールで行われました。当日は市内中学生3207人の応募から選ばれた中学生が、日常生活において、家族や友人、社会と



の関わりの中で気づき、考えたことを発表しました。主な入賞者は次のとおりです。

《敬称略・各賞学校順》

- ▼市長賞Ⅱ北瀬美成実(五中3年)
- ▼議長賞Ⅱ下津浦美結(二中2年)、下田凜(六中3年)
- ▼教育長賞Ⅱ小島千穂(二中2年)、江崎万桜(四中1年)
- ▼中学校PTA会長賞Ⅱ原颯汰(四中1年)

「税についての作文」表彰

次代を担う中学生の皆さんに税への関心と理解を深めてもら

- 年)▼青少年問題協議会会長賞Ⅱ林晃平(一中1年)、下込優香(二中2年)、浅井紗和(二中3年)、松岡優希乃(三中3年)、高橋実央(四中3年)、山口塔子(五中1年)、坂本詩季(七中1年)、吉田琉生(八中2年)、本谷環(九中3年)
- 円子ども育成課青少年係・内線1305

離職による国民年金保険料の特例免除制度

離職(退職や失業)が理由で国民年金保険料の納付が困難な場合には、

うことを目的として行っている「税についての作文」で、市内の中学生が受賞しました。

- ▼市長賞Ⅱ佐野涼花(三中3年)
- ▼教育長賞Ⅱ岩瀬広紀(二中3年)

《敬称略》

課税課諸税係・内線1201

申請して承認を受けると免除される制度があります。ただし、配偶者、世帯主に一定以上の所得があるときは認められない場合があります。現在受付中の期間は、申請時点の2年1か月前から令和3年6月分です。

年金手帳、認印、失業していることを確認できる公的機関の証書(雇用保険被保険者離職票、受給資格者証など。申請期間に有効であるもの)の写しを持参の上、手続きをしてください。

課税課国民年金係・内線1394

「ねんきんネット」をご利用ください

「ねんきんネット」は、パソコンやスマートフォンから、ご自身の年金記録や、将来の年金見込額の試算などが手軽に確認できるサービスです。「日本年金機構」のホームページから「ねんきんネット」を検索し、アクセスキーまたは、マイナンバーカードをご用意の上、登録するとアクセスできます。

- 支給日・支給方法 ひとり親世帯臨時特別給付金の振込をした口座に随時支給します。
- 厚生労働省「ひとり親世帯臨時特別給付金」コールセンター ☎0120(400)903(土曜・日曜日、祝日、年末年始を除く)

生活や仕事・住居などで困っている方に

市内在住で離職等による経済的困窮など、さまざまな問題を抱えた方の相談を聞き、自立への支援を一緒に考えます。必要に応じて、自立に向けたプランを作成します。就労に関する相談支援を行います。離職等により住居を失った方、失うおそれ

- 「ポケット労働法2020」を配布
- 労働法を初めて勉強する労働者や雇用主の方向けの冊子です。産業観光課(市役所2階48番窓口)、市政情報コーナー(市役所3階)、市内公共施設などで無料配布しています。「TOKYOはたらくネット」のホームページからダウンロードも可。
- 産業観光課・内線2644

第40回中学生の主張大会

市長賞

「ありがとう」 北瀬 美成実(五中3年)



学校の帰り道、小柄なおばあさんが背中を丸めながら、重そうに買い物をもち、一歩一歩ゆくり歩く姿が見えました。私の祖母と同じくらいの歳だろうか、自転車でカートの重さもなく、歩いて重そうに荷物を運ぶ姿は膝の悪い祖母の姿と重なり、思わず声を掛けてしまいました。

「大変そうですね。お荷物をお持ちしましょうか?」おばあさんは、驚いた顔で私を見上げました。「あらそう?助かるわ。」

「ありがとうございます。」と荷物を持たせてくれました。初めてのことだったので、私も緊張しましたが、歩きながらお孫さんの話を聞かせてもらい不思議と楽しい時間を過ごすことができました。別れ際に何度も、「ありがとうね。」とお礼を言うてくださる姿に、私も胸いっぱい嬉しさが込み上げてきました。そして、「今日はなんて良い一日だろう」と思いながら帰りました。

この体験の後、同じように大変そうにしているお年寄りの方を見かけた時には、勇気を出して声を掛けようになりました。皆さん、一瞬驚かれますが、制服姿から中学生だとわかると快くお手伝いをさせてくれます。そして無事に家に着き、荷物を渡すと、「ありがとう!本当に助かったよ。ありがとうございます。」と繰り返してお礼の言葉を掛けてくれます。今までこんなにありがとうと言われたことがあつたらうかと思うくらいに、何度も何度も嬉しそうな笑顔で言うてくださいます。その度に、私も体中に嬉しい気持ちと勇気が湧いてきて、「こちらこそありがとうございませす」という、幸せな感覚が広がるのです。

ずっと立川市に住んでいても、挨拶を交わすのは近所の方だけで、同じ町内においても、毎日通っている通学路の住民の方も、全く知らずに関わりもなく過ぎてきました。しかし、ほんの少し勇気を出して自分から声を掛けたことで、私の世界は変わりました。祖母と同じような状況の人を少しでも助けられるのなら、何かお手伝いのできるのではと思っただけなのに、自分にはなりましたが、こつこつと地域に住む人同士、声を掛け合っていけたら、とても幸せな気持ちで暮らしていけると思います。何か困ったことがあっても、自分からは誰か手伝ってほしい、言いにくいもの。だからこそ、気付いた側が声を掛けられたら良いなと思います。とはいえ、勇気を出して声を掛けても、必要ないと断られてしまうかもしれません。それは正直怖いです。しかし、私が出会った人たちは、皆さん喜んで任せてくれて、そしてたくさん「ありがとう」の言葉を私に掛けてくれました。この嬉しさが、次へつながらる勇気にもなりました。お互いが相手を思いやり、優しい気持ちで接することで、その幸せは次の誰かにもつながります。若いから、お年寄りだから、ではな

く、お互いを尊重しあって声を掛けていけたら、こんなにも温かいです。嬉しい時間があるのだということ、私は実感しました。自分には関係ないを通り過ぎるのではなく、少し気に留めるだけでも、心のなかで何かが変わります。今、何もできなくても、いつかそんな場面に会った時、心の中の声が出せるようになっていきたいと思います。ありがとうを言う人も言われる人もどちらもとても幸せです。その幸せが、自分の暮らしていける町にあつたら、もっと毎日が楽しく豊かになるのではと思います。私は、たくさんのありがとうの言葉を掛けてくれた人たちに感謝しつつ、あの笑顔を胸に、これからも勇気を出して行動できる人でありたいと思います。

そして、これを伝えることで、勇気を出して行動してくれる人の輪を広げ、私たちが大人になる頃には、もっと居心地の良い優しい町になれるように頑張っていきたいと思えます。

東京都最低賃金は、時間額1013円です。都内で働くすべての労働者に適用されます。東京労働局労働基準部賃金課 ☎03(3512)1614